



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月25日

上場取引所 東 名

上場会社名 東海ゴム工業株式会社

コード番号 5191 URL <http://www.tokai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 義明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 前田 裕久

TEL 0568-77-2121

四半期報告書提出予定日 平成25年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	193,571	8.2	6,200	△18.0	6,447	△17.1	3,527	23.8
24年3月期第3四半期	178,892	△7.9	7,558	△32.9	7,779	△27.8	2,849	△60.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 8,412百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,681百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	33.98	—
24年3月期第3四半期	27.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	259,816	164,818	59.1
24年3月期	260,600	156,932	56.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 153,650百万円 24年3月期 148,255百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
25年3月期	—	8.00	—		
25年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	3.2	10,000	△22.0	10,000	△23.3	6,000	△1.5	57.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 3社 (社名) 、 除外 1社 (社名)

TOKAI RUBBER COMPOUNDING (THAILAND) Ltd.  
PT.TOKAI RUBBER INDONESIA  
PT.TOKAI RUBBER AUTO HOSE INDONESIA

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	104,042,806 株	24年3月期	104,042,806 株
----------	---------------	--------	---------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期3Q	234,365 株	24年3月期	207,931 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	103,809,058 株	24年3月期3Q	103,835,316 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(所在地別セグメント情報)	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国で緩やかな回復傾向がみられたものの、欧州では長引く債務問題により景気が低迷したほか、新興市場を牽引してきた中国でも成長に陰りが見え始めるなど、全体として停滞感の強い状態が続きました。国内経済につきましても、東日本大震災の復興需要による回復効果はあるものの、世界経済の低迷による需要減や円高の長期化、電力安定供給への懸念などの不安材料もあり、弱含みの展開となりました。特に中国市場においては、日中間での領土問題をめぐる反日デモなどの影響で日本製品の販売が落ち込むなど、厳しい事業環境が続きました。

当社グループが主要取引先とする自動車業界は、新興国や米国でおおむね販売が好調に推移したほか、国内でも政府の環境対応車普及策である「エコカー補助金」効果で自動車生産台数が前年同期比でプラスになりました。一方で、円高による輸出コストの増大や、領土問題に伴う反日感情の悪化による中国市場でのシェア低下など、マイナス材料もありました。

このような状況下で、当社グループは、グローバルでの製造・販売網拡充による新規市場参入とシェア拡大に取り組むとともに、原材料・部材の調達経費圧縮や国内拠点の集約、物流システムの効率化などコスト削減策を推進し、収益力の高い経営体質の構築に注力致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は193,571百万円（前年同期比+8.2%）となり、営業利益は6,200百万円（前年同期比△18.0%）、四半期純利益は3,527百万円（前年同期比+23.8%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <自動車用品>

国内市場では、震災からの生産回復と「エコカー補助金」効果により国内自動車販売台数が増加しました。海外市場でも、中国市場でのシェア低下はあったものの、新興国で販売が堅調に推移したほか、米国での景気回復による需要好転により、全体として好調を維持しました。

この結果、セグメント間消去前の売上高は153,290百万円（前年同期比+13.4%）、営業利益は4,604百万円（前年同期比+2.0%）となりました。

#### <一般産業用品>

産業用ゴム製品分野では、中国での経済成長が鈍化した影響で建設・土木工事需要が落ち込んだことから、建設機械・工作機械向け高圧ホースの販売が苦戦したほか、プリンター向け機能部品など事務機器向け精密部品分野でも、欧州をはじめとする世界経済の低迷で販売が伸び悩みました。

この結果、セグメント間消去前の売上高は47,775百万円（前年同期比△5.9%）、営業利益は1,596百万円（前年同期比△47.6%）となりました。

### (2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月26日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間より、新たに10社（環宇東海橡塑（天津）有限公司、TOKAI RUBBER COMPOUNDING (THAILAND) Ltd.、東海橡塑技術中心（中国）有限公司、東海津榮模具（天津）有限公司、PT.TOKAI RUBBER INDONESIA、PT.TOKAI RUBBER AUTO HOSE INDONESIA、TOKAI RUBBER INDUSTRIAL HOSE INDIA PRIVATE Ltd.、東海橡塑企業管理（浙江）有限公司、東海橡塑（上海）国際物流有限公司、TRI Europe GmbH）を連結の範囲に含め、平成24年3月期に31社であった連結子会社が41社となっております。なお、TOKAI RUBBER COMPOUNDING (THAILAND) Ltd.、PT.TOKAI RUBBER INDONESIA、PT.TOKAI RUBBER AUTO HOSE INDONESIAの3社は当社の特定子会社となっております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループの収益認識の方法は、従来、当社及び国内連結子会社は主に出荷基準、在外連結子会社は検収基準によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても、検収基準に変更致しました。

この変更は、当社グループの収益認識の方法を検討した結果、検収基準を採用する方が会社の経済的実態をより適切に反映されることができると判断し、社内体制の見直しを経て、検収基準で収益を認識する環境が整ったこと、及び、当社グループのグローバル展開が進展する中で、海外拠点の重要性が高まっていることから、グループ内の収益認識の方法を検収基準とする事がより合理的であると判断したため行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度末の商品及び製品が197百万円、繰延税金資産が18百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が246百万円、利益剰余金が31百万円それぞれ減少しております。また、前第3四半期連結累計期間の売上高が12百万円、売上原価が5百万円それぞれ増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ7百万円増加しております。前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は25百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,880	42,996
受取手形及び売掛金	66,511	55,800
有価証券	12,000	—
商品及び製品	6,337	6,915
仕掛品	6,818	6,824
原材料及び貯蔵品	9,886	11,282
未収入金	7,626	6,463
繰延税金資産	4,003	3,351
その他	811	2,506
貸倒引当金	△122	△132
流動資産合計	147,750	136,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	76,988	82,623
減価償却累計額	△41,562	△43,342
建物及び構築物（純額）	35,426	39,281
機械装置及び運搬具	168,142	176,486
減価償却累計額	△135,189	△139,750
機械装置及び運搬具（純額）	32,953	36,736
工具、器具及び備品	50,027	52,315
減価償却累計額	△43,988	△45,043
工具、器具及び備品（純額）	6,039	7,272
土地	12,110	13,191
リース資産	272	383
減価償却累計額	△156	△157
リース資産（純額）	116	226
建設仮勘定	4,477	7,480
有形固定資産合計	91,121	104,186
無形固定資産	2,537	2,741
投資その他の資産		
投資有価証券	12,549	9,120
繰延税金資産	213	216
その他	6,488	7,608
貸倒引当金	△58	△60
投資その他の資産合計	19,192	16,884
固定資産合計	112,850	123,811
資産合計	260,600	259,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,018	38,948
短期借入金	3,148	5,289
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払金	11,131	10,984
未払法人税等	1,455	489
製品保証引当金	761	761
その他	8,410	7,446
流動負債合計	71,923	73,917
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	2,786	2,700
繰延税金負債	4,770	3,969
退職給付引当金	3,103	3,288
事業構造改善引当金	475	475
その他	611	649
固定負債合計	31,745	21,081
負債合計	103,668	94,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,145	12,145
資本剰余金	10,867	10,867
利益剰余金	134,879	136,586
自己株式	△265	△294
株主資本合計	157,626	159,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,430	1,599
繰延ヘッジ損益	—	466
為替換算調整勘定	△10,801	△7,719
その他の包括利益累計額合計	△9,371	△5,654
少数株主持分	8,677	11,168
純資産合計	156,932	164,818
負債純資産合計	260,600	259,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	178,892	193,571
売上原価	151,385	164,670
売上総利益	27,507	28,901
販売費及び一般管理費	19,949	22,701
営業利益	7,558	6,200
営業外収益		
受取利息	106	115
受取配当金	121	109
為替差益	—	67
持分法による投資利益	127	376
その他	503	476
営業外収益合計	857	1,143
営業外費用		
支払利息	270	258
減損損失	17	158
為替差損	46	—
固定資産廃棄損	121	155
その他	182	325
営業外費用合計	636	896
経常利益	7,779	6,447
特別利益		
持分変動利益	—	35
補助金収入	200	—
特別利益合計	200	35
特別損失		
投資有価証券売却損	—	38
災害による損失	2,945	—
特別損失合計	2,945	38
税金等調整前四半期純利益	5,034	6,444
法人税、住民税及び事業税	1,298	2,417
法人税等調整額	241	△512
法人税等合計	1,539	1,905
少数株主損益調整前四半期純利益	3,495	4,539
少数株主利益	646	1,012
四半期純利益	2,849	3,527

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,495	4,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△441	154
繰延ヘッジ損益	—	466
為替換算調整勘定	△4,576	3,222
持分法適用会社に対する持分相当額	△159	31
その他の包括利益合計	△5,176	3,873
四半期包括利益	△1,681	8,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,638	6,947
少数株主に係る四半期包括利益	△43	1,465

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車用品	一般産業用品	計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	135,007	43,885	178,892
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	147	6,866	7,013
計	135,154	50,751	185,905
セグメント利益	4,515	3,043	7,558

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,558
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	7,558

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車用品	一般産業用品	計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	153,181	40,390	193,571
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	109	7,385	7,494
計	153,290	47,775	201,065
セグメント利益	4,604	1,596	6,200

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,200
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	6,200

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社の収益認識の方法を検収基準に変更したことに伴い、報告セグメントの当社及び国内連結子会社の収益認識の方法を検収基準に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

### 4. 補足情報

（所在地別セグメント情報）

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	121,040	25,374	18,905	13,573	178,892	-	178,892
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	15,301	215	6,933	1,389	23,838	△23,838	-
計	136,341	25,589	25,838	14,962	202,730	△23,838	178,892
営業利益	3,394	861	1,518	1,709	7,482	76	7,558

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	121,400	35,041	18,813	18,317	193,571	-	193,571
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17,254	180	9,122	1,734	28,290	△28,290	-
計	138,654	35,221	27,935	20,051	221,861	△28,290	193,571
営業利益	431	2,358	1,157	2,352	6,298	△98	6,200

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北 米…米国

東 ア ジ ア…中国

そ の 他…タイ、ポーランド

3 すべての営業費用を各セグメントに配賦しております。